

# 令和2年度相模原市協働事業提案制度 公開中間ヒアリング

日時 令和2年10月24日（土）午前10時30分～正午

会場 相模原市立 産業会館4階 特別会議室（国際商談室）

時間	区分	内容	事業概要	団体名	事業担当課	採択年度
10:00	審査員オリエンテーション（控室にて実施）					
10:30	〈 開 会 〉					
10:30	行政	オープンデータ活用促進事業	オープンデータの利活用促進のため、市民に役立つオープンデータのニーズを掘り起こし、目に見えるサービス・アプリケーションの活用事例づくりを行い、オープンデータ活用実績として周知を行う。	さがみはらIT協同組合	情報政策課	R1
10:50	行政	共助によるまちの身近な安全対策の促進事業	近年、各所で大規模な地震、台風による被害が頻発しており、私たちの生活や財産に多大な影響を及ぼしている。身近にある危険な要因として管理不全のブロック塀の倒壊や屋外広告物の落下などが挙げられ、こうした危険要因を除去し、適切な情報提供を行い、安全に対する意識の向上を目指す。	特定非営利活動法人 建築文化研究会	建築・住まい政策課	R1
11:10	休憩（10分）					
11:20	市民	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり活性化事業	電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発するため、イベントへの出展や、関心のある団体に対して出前ワークショップを実施する。	藤野電力	危機管理課 緑区役所地域振興課 藤野まちづくりセンター 政策課	R1
11:40	市民	若年層に向けた金融教育支援事業（高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話）	成年となることで契約に係る権利と責任が大きく変化することを踏まえ、高校生やその保護者に対して、金融教育や法的に大人になることについての講義、高校生が経済的理由で進学をあきらめないための奨学金等支援制度の適正な活用方法の説明や個別相談を行うことで、消費者被害の未然防止や将来の健全な市民の育成をしていく事業。	神奈川県ファイナンス シャルプランナーズ協 同組合	消費生活総合センター こども・若者支援課	H30
12:00	〈 閉 会 〉					

主催 NPO法人市民フォーラムさがみはら  
相模原市

## 中間ヒアリング調書について

公開中間ヒアリングに臨むにあたり、評価項目が18ある中間ヒアリング調書（2～5ページに掲載）を実施団体と事業担当課がそれぞれ事前に作成しています。

それぞれが行ったa～dの評価を点数化し、各事業における実施団体と事業担当課の意識差を6ページに掲載しています。

こうして、意識に差がある部分は何かを明らかにすることにより、今後のより良い事業実施につなげていくことも、このヒアリングの目的としています。

また、事業の概要について記載してあるページ（実施団体作成分）を7ページ以降に掲載していますので、ヒアリングを聞く際の参考としてください。

## 協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号			
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民	<input type="checkbox"/> 行政	今年度が 年 月 日
事業の名称			
団体の名称			
事業担当課			
事業の概要			
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。		
令和2年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。		
令和2年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。		
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。		
	9月末現在での事業達成度・・・( )%程度 成果をはかる指標( ) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等		
事業予算額	千円		
うち市負担金額	千円 (市負担割合 % )		

令和3年度の事業継続を  希望します  希望しません

令和3年度事業予算額	千円	(当初提案時の金額 :	千円)
令和3年度市負担金希望額	千円	(当初提案時の金額 :	千円)

記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民	<input type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	0		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

<b>A：取り組みの状況</b>		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>			
		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
<b>B：事業の評価</b>		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>			
		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
<b>C：協働したことの効果</b>		<i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>			
		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度)※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度)※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				

D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

その他

## 4事業の自己評価数値および意識差

### ※自己評価数値について

a=4 → 肯定する(はい)(おおいに思う)

b=3 → どちらかと言えば肯定する(どちらかと言えば思う)

c=2 → どちらかと言えば否定する(どちらかと言えば思わない)

d=1 → 否定する(いいえ)(思わない)

### NO. 1 オープンデータ活用促進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4	63
行政	4	4	4	4	3	3	3	4	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4	64
差	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

### NO. 2 共助によるまちの身近な安全対策の促進事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	70
行政	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
差	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

### NO. 3 防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がり活性化事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	4	4	1	4	4	3	4	3	2	4	3	4	4	4	4	3	63
行政	4	4	4	3	1	4	4	3	3	3	2	3	3	3	3	4	4	3	58
差	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	5

### NO. 4 若年層に向けた金融教育支援事業(高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
市民	4	4	3	4	1	4	4	3	4	4	3	4	4	3	4	4	4	3	64
行政	4	4	4	4	1	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	68
差	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4

## 協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	行政提案型	令和元年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	オープンデータ活用促進事業					
団体の名称	さがみはらIT協同組合					
事業担当課	情報政策課					
事業の概要	オープンデータの利活用促進のため、市民に役立つオープンデータのニーズを掘り起こし、目に見えるサービス・アプリケーションの活用事例づくりを行い、オープンデータ活用実績として周知を行います。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 行政もオープンデータの利活用促進に取り組んでいることを知ったが、一般市民向けに有効活用されている事例はまだ少ない(38件中4件)。どのような情報が求められているのか、どのような形で提供されると喜ばれるのかを調査、整理し、オープンデータ活用の啓蒙を図る。					
令和2年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 2020.04～05 企画会議、関係各所への周知 2020.06～08 各所へのヒアリング実施 2020.09～10 対象サービス選定 2020.11～12 データ関連部門との調整 2021.01～03 コンテスト等の企画、スケジュールの立案					
令和2年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 ・企画会議、関係各所への周知(Web会議、メール) ・各所へのヒアリング実施(Web会議、メール) ・対象サービス選定 ・市民ニーズ調査アンケートフォームの作成と展開 【コロナによる影響】 ・「相模原市民桜まつり」の中止により組合ブースでのPR、アンケートが行えなくなった ・企画会議、ニーズ調査の手段がWeb会議、メールのみになった					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 市民ニーズ調査 データ関連部門との調整 コンテスト等の企画、スケジュールの立案					
	9月末現在での事業達成度・・・( 50 )%程度 成果をはかる指標(企画会議開催回数、市民ニーズ調査、次年度計画の立案) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 ・企画会議 7回: 03/27、07/07、07/28、08/21、09/08、09/25、10/05 ・組合内会議 5回: 02/20、07/16、09/01、09/07、10/01 ・ニーズ調査 2回: 09/03 青山学院大学 飯島先生、09/25 こみかるキッズ相模原 長沢さん ・ニーズ調査アンケート作成: 展開中					
事業予算額	30 千円					
うち市負担金額	0 千円 (市負担割合 0 %)					

# 協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	行政提案型	令和元年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	共助によるまちの身近な安全対策の促進事業					
団体の名称	特定非営利活動法人 建築文化研究会					
事業担当課	建築・住まい政策課					
事業の概要	近年、各所で大規模な地震、台風による被害が頻発しており、私たちの生活や財産に多大な影響を及ぼしています。身近にある危険な要因として管理不全のブロック塀の倒壊や屋外広告物の落下などが挙げられ、こうした危険要因を除去し、適切な情報提供を行い、安全に対する意識の向上を目指します。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 災害における被害を抑えるための第一歩として安全対策に対する意識の向上を図ることを目的としています。特に身近な危険要素である管理不全のブロック塀や落下の恐れのある屋外広告物などは、屋外で被災した際に倒壊や落下の危険性があり、生活や財産を守るためには、こうした危険要素に対する安全対策が必要であると考えています。					
令和2年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 1 危険ブロック塀等撤去奨励補助制度のリーフレット及び屋外広告物の安全点検・補修のリーフレット(以下「危険ブロック塀等のリーフレット」という。)の作成。 2 危険ブロック塀等のリーフレットのポスティングによる周知活動。 (1)危険ブロック塀等撤去奨励補助制度のリーフレット ・清新小学校半径500mの範囲 (2)屋外広告物の安全点検・補修のリーフレット ・橋本駅周辺地域 3 危険ブロック塀及び落下倒壊のおそれのある屋外広告物等の危険個所の抽出活動。 ・上記2の配布範囲内					
令和2年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 1 …4月から6月に作成済み 2 …(1) 8月(リーフレット配布枚数:72枚) 9月(リーフレット配布枚数:36枚) …(2) 8月(リーフレット配布枚数:91枚) 9月(リーフレット配布枚数:24枚) 3 … 8月(危険ブロック塀 19件、屋外広告物 1件) … 9月(危険ブロック塀 7件、屋外広告物 0件) ※新型コロナウイルス感染拡大予防対策により危険ブロック塀等のリーフレットのポスティングが8月からとなった。 残りの半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 2、3 …(1)10月 鶴の台小学校(南区)半径500mの範囲 11月 上溝小学校(中央区)半径500mの範囲 12月 上溝小学校(中央区)半径500mの範囲 1月～ 耐震化率の低い小学校半径500mの範囲 …(2)10月 橋本駅周辺地域 11月 橋本駅周辺地域 12月 橋本駅周辺地域 1月～ 相模原駅周辺地域					
	9月末現在での事業達成度 …… ( 26 ) %程度 成果をはかる指標 ( リーフレット配布枚数 )  (1) 危険ブロック塀等撤去奨励補助制度のリーフレット 配布枚数 108 (72枚+36枚) / 配布予定枚数 500枚程度 (2) 屋外広告物の安全点検・補修のリーフレット 配布枚数 115 (91枚+24枚) / 配布予定枚数 350枚程度					
事業予算額	1,432 千円					
うち市負担金額	1,272 千円 (市負担割合 89 % )					

## 協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和元年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	防災意識の普及啓発、持続可能なエネルギーと人の繋がりの活性化事業					
団体の名称	藤野電力					
事業担当課	危機管理課、緑区役所地域振興課、藤野まちづくりセンター、政策課					
事業の概要	電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発するため、イベントへの出展や、関心のある団体に対して出前ワークショップを実施します。					
事業の目的	<p>最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>1. 防災に対して関心の薄い若年層や、低学年の児童のいる親子世代が参加してみたいと感じるような、「遊びながら、ゲーム感覚で」防災に関する知識を学ぶことができる場を提供し、多くの市民の防災意識を向上させる。</p> <p>2. 電気をはじめとした災害時に役立つ知識や防災・減災に資する知識、自助や共助の重要性などについて、幅広い世代へ普及啓発を行うことで、人の繋がりを活性化させながら、多くの方が災害時に対応できるノウハウを身につけるようにする。</p> <p>3. ミニ太陽光発電システム等を活用し、持続可能な循環型社会の形成に向けた意識啓発を図る。</p>					
令和2年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>イベントへの出展と、それに伴う啓発事業。また、イベント時に興味を持ってくれた団体などに対しての出前ワークショップの提供。</p> <p>イベント時の動画や、SNSなどを活用した形での動画発信による情報啓蒙。</p>					
令和2年度取組状況	<p>この半年間で実施したことは何か。</p> <p>※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>上半期については、緊急事態宣言が発出されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共施設の使用が制限されたことや多くの市内イベントが中止となるなど、当初予定のイベント出展やワークショップ開催ができなかった。</p> <p>そのため、新型コロナウイルス感染症対策をしながら事業を推進するために、事業内容の検討を行った。また、災害時の感染症対策などについても、懸案事項として感じている。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何か。</p> <p>※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。</p> <p>現在は、大掛かりではない催しなどは感染症対策を実施する中では実現できるようになってきているため、小規模なワークショップなどから実施していく。また、映像などについては、距離を問わず発信できるため、その施策を行う。ワークショップなどについては、オンラインでの実施なども状況によっては、開催予定。</p> <p>また、映像やチラシなどの製作するツールの充実などをさらに図る。</p>					
	<p>9月末現在での事業達成度・・・( 10 )%程度</p> <p>成果をはかる指標(ワークショップ等の参加者の防災意識の向上人数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>○ワークショップを開催した際に、参加者に「防災意識が向上した・向上してない」などの項目で、アンケート等により防災意識が向上したかを図る。</p>					
事業予算額	3,700 千円					
うち市負担金額	3,150 千円 (市負担割合 85 %)					

## 協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	平成30年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	若年層に向けた金融教育支援事業(高校生にも分かる契約、金融と奨学金の話)					
団体の名称	神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合					
事業担当課	消費生活総合センター、 こども・若者支援課					
事業の概要	成年となることで契約に係る権利と責任が大きく変化することを踏まえ、高校生やその保護者に対して、金融教育や法的に大人になることについての講義、高校生が経済的理由で進学をあきらめないための奨学金等支援制度の適正な活用方法の説明や個別相談を行うことで、消費者被害の未然防止や将来の健全な市民の育成をしていく事業。					
事業の目的	最大3年間の実施期間の中で目指していることは何ですか。 高校生が正しい金融知識・ライフプランの知識を学ぶことで、健全な社会人・相模原市民となるように育成する。					
令和2年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 ① 講義 「18歳でできる事、できない事」 ② 講義 「高校生にもわかる経済・金融の話」 ③ 講義・相談 「あきらめないで！ 夢の実現」 ④ 講義 「高校性・若年層のためのライフプラン」 ⑤ ワークショップ 「自分のライフプランをつくる」 学校の希望に合わせて、上記①～⑤のテーマに沿った講義を行う(目標 26回)。					
令和2年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 ※コロナ対策として事業内容に変更が生じた場合は、変更内容についても記載してください。 コロナの影響による高等学校の休校や授業計画の変更により、現時点で講座の開催実績はありません。 4月・・・令和2年3月に実施した開催希望調査結果を取りまとめた。 (コロナの影響で授業の見通しが立たず、講座の可否について回答できないという学校が多数) ※団体の事務所閉鎖期間(4月上旬～5月上旬、以降順次再開) 4～6月・・・3年経過後の資金調達の手法を検討し、オンライン授業・セミナーの体制を構築(団体) 残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 ※コロナ対策として事業計画に変更が生じる場合は、変更内容についても記載してください。 10～11月・・・高校生向け講座の実施(県立城山高等学校) 8回 1～3月・・・県立学校長会議において、講座の活用を呼び掛けるとともに開催希望の高校と打合せを行う					
	9月末現在での事業達成度・・・( 10 ) %程度 成果をはかる指標( 講座開催回数 ) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 講座開催には至っていないものの、再開後に向けた取り組みを進めていたため、事業達成度を10%としています。					
事業予算額	465 千円					
うち市負担金額	262 千円 (市負担割合 56 % )					

	部会委員：
--	-------

## 公開中間ヒアリング 評価シート（審査会委員用）

※ 自己評価及び意識差(a=4、b=3、c=2、d=1)

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計	
市民																				
行政																				
差																				

審査会採点および意見	
事業の有効性	事業は地域や市民のニーズを的確に捉え、市民が抱える公共的課題に込えているか。 /5 コメント
協働の必要性	単独よりも協働して取り組むことで、より高い効果・成果を得られているか。 /5 コメント
役割分担の妥当性	協働の関係性や役割分担は適切か。 /5 コメント
経費の妥当性	事業の必要性、協働の必要性等を勘案し、事業経費や負担割合は適切なものであるか。 /5 コメント
継続の妥当性	課題解決のために協働事業提案制度において継続することが妥当か。 /5 コメント
合計	/25 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">普通＝3点を基準として採</div>

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

## 協働事業提案制度事業審査作業部会 委員名簿

(令和2年10月現在、五十音順)

番号	氏 名	構成員名	現 職 名
1	いしかわすずこ 石川 壽々子	相模原市 市民協働推進 審議会委員	相模原市社会福祉協議会 理事
2	いよだ たつじ 伊豫田 竜二	アドバイザー	伊豫田中小企業診断士事務所 中小企業診断士
3	きりと はつみ 桐戸 初生	相模原市 市民協働推進 審議会委員	相模原市公民館連絡協議会 副会長
4	ほんま ひでかず 本間 英和	アドバイザー	西武信用金庫橋本支店 支店長
5	めが ふみこ 妻鹿 ふみ子	相模原市 市民協働推進 審議会委員	東海大学 健康科学部社会福祉学科 教授